

科目名	MOS対策							年度	2024
英語科目名	Preparation for MOS Exam							学期	後期
学科・学年	スポーツ健康学科三年制 スポーツビジネスコース 1年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	安本和則	教員の実務経験		有	実務経験の職種		システムエンジニア		
【科目の目的】 本講義では、MOS試験に出る基本的な機能と操作方法について復習を行いながら、MOSの出題範囲に沿った試験対策授業を行います。 マイクロソフトオフィススペシャリスト (MOS) の取得します。									
【科目の概要】 マイクロソフトオフィススペシャリスト (MOS) の取得に向けた試験対策授業を行います。									
【到達目標】 A. MOS試験の内容を説明・理解できる B. アプリケーションごとに説明・理解できる C. 文書作成が出来る、作成方法を理解出来る D. データ分析の操作、方法を理解出来る E. プレゼンテーション作成が出来る、プレゼンが出来る									
【授業の注意点】 私たちの身近な存在であるコンピュータの仕組みを、基本的な事項から解説します。疑問点はそのままにしないで、質問してください。毎回の積み重ねが大切です。授業時数の4分の3以上出席しない場合は定期試験を受験することができません。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル3 優れている			レベル2 ふつう				レベル1 要努力	
到達目標A	MOS試験の内容を説明・理解できる			MOS試験の内容を理解できる				MOS試験の内容を理解できない	
到達目標B	アプリケーションごとに説明・理解できる			アプリケーションを理解できる				アプリケーションを理解できない	
到達目標C	文書作成が出来る、作成方法を理解出来る			作成方法を理解出来る				作成方法を理解出来ない	
到達目標D	データ分析の操作、方法を理解出来る			データ分析の操作方法を理解出来る				データ分析の操作方法を理解出来ない	
到達目標E	プレゼンテーション作成が出来る、プレゼンが出来る			プレゼンテーション作成が出来る				プレゼンテーション作成が出来ない	
【教科書】 授業に必要な教材資料等については教員にて準備・配布する。参考書等を使用する場合には授業内にて指示する。									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 成績評価については、筆記もしくはレポートによる試験結果（中間/期末/定期的な提出物など）30%、授業中の参加姿勢/学習意欲（リーダーシップ、積極性、学習に対する向上努力など）30%、出席状況40%とし、授業内における達成度・到達度を総合的に判断して行います。なお、成績評価を受けるためには、全授業の75%以上の出席が必要となります。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		MOS対策			年度	2024
英語表記		Preparation for MOS Exam			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価
1	オリエンテーション	授業概要の理解	1 概要・メリット	資格のメリットを理解できる	2	
			2 試験内容	試験内容を理解できる		
			3 学習方法	学習方法を理解できる		
2	実践と学習	ワークブックとシートの管理 1	1 ワークシートの書式設定	ワークシートの書式設定ができる	2	
			2 ブック 書式設定	ブックの書式設定ができる		
			3 表示のカスタマイズ	表示のカスタマイズができる		
3	実践と学習	ワークブックとシートの管理 2	1 ワークシートの管理	ワークシート内のデータ管理ができる	2	
			2 ブックの管理	ブックの書式設定ができる		
			3 まとめ	書式設定、管理の説明ができる		
4	実践と学習	セルとセル範囲のデータ管理 1	1 セルの書式設定	セルの書式設定ができる	2	
			2 数値の書式設定	数値の書式設定ができる		
			3 条件付き書式	条件付き書式を使用できる		
5	実践と学習	セルとセル範囲のデータ管理 2	1 データの整列	データの整列ができる	2	
			2 セル範囲の合併・分割	セル範囲の合併・分割ができる		
			3 セル範囲の計算	セル範囲の計算として、組み込み関数を使用できる		
6	実践と学習	テーブルとテーブルのデータ管理	1 テーブル	テーブル使用メリットの理解ができる	2	
			2 テーブル作成	テーブルの作成ができる		
			3 テーブル活用	テーブル活用ができる		
7	実践と学習	数式や関数を使用した演算	1 相対参照	相対参照を理解できる	2	
			2 混合参照	混合参照を理解できる		
			3 外部参照	外部参照を理解できる		
8	実践と学習	数式や関数を使用した演算	1 関数の使用	関数を使用できる	2	
			2 データの整列	データ整列ができる		
			3 ピボットテーブルの作成	ピボットテーブルができる		
9	実践と学習	グラフの管理	1 グラフの作成	グラフを作成できる	2	
			2 グラフの管理	グラフの管理、編集ができる		
			3 カスタマイズ	グラフをカスタマイズできる		
10	自己評価とフィードバック	過去の進捗を振り返り、自己評価	1 振り返り	フィードバックを受け入れ、学習計画を作成できる	2	
			2 自己評価	自己評価ができる		
			3 弱点克服	弱点を克服できる		
11	シミュレーションテストと模擬試験	模擬試験と解答解説 1	1	過去問題から見える出題傾向を説明	過去問題練習	1
			2			
			3			
12	シミュレーションテストと模擬試験	模擬試験と解答解説 2	1	過去問題から見える出題傾向を説明	過去問題練習	1
			2			
			3			
13	シミュレーションテストと模擬試験	模擬試験と解答解説 3	1	過去問題から見える出題傾向を説明	過去問題練習	1
			2			
			3			
14	シミュレーションテストと模擬試験	模擬試験と解答解説 4	1	過去問題から見える出題傾向を説明	過去問題練習	1
			2			
			3			
15	資格の受験内容	まとめ	1 検定について	検定科目内容を理解できる	2	
			2 科目について	科目内容を理解できる		
			3 詳細	検定の詳細（受験料、日程）を理解できる		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等